き段の業務を行う中で、 がけていることは である。

努力すること。そして、 とですね。 困っている状況であれば、 か役に立てるように対応するこ 相手の期待を裏切らないよう 相手が なんと

思いを教えてください。大切にしている考えや仕事を行う中で、

と思われること。メニュー の)を提供することで、 術力が高く、 込んで、新鮮で美味しいもの タイミングよく(段取りよく)仕 じだと思っています。良い材料を 行きたい していくことも大切です。 長く続く人気ある料理屋と同 (また仕事を頼みたい) 安全で高品質なも もう一度 を維持 技

でのケコム工法による立杭構築 た一般土木工事や、 重機やダンプトラックを使っ

過ごしていますか。

.....

ます。露店で知り合ったお年寄り ごすことも多いですね。 (自分も含めて) と団らんして過 公園で飼い犬と遊んだりしてい 買い物をしたり、山あいの自然

を担っています。

教えてください。外戦したいことを挑戦したいことを

です。そのためにも禁煙かな? 体力を維持していくことが目標 今後とも健康に、ゴルフを楽しむ もうじき88歳になりますが

今度は、17年にわたって会 さんにガンシンテックとい う会社について詳しくお 聞きします。まずは、ガン シンテックの業務内容を シンテックの業務内容を

下水道工事

造物の切断や削孔、 ター切断工事、 はつり工事などの特殊工事 また、 道路舗装面のカッ コンクリー アンカーエ

取り組みはありますか。ガンシンテックで

ています。 ては、環境改善がなされない限 危険な設備環境での作業につい 員の安全を第一に考えています 下請け工事が多いですが、 その場で断って良い、

ちのでしょうか。

います。 ることです。 事が絡み合った仕事を一社ででき どの特殊工事と、通常の土木工 コンクリ 受注に繋がっているのだと思 両工事が補完しあっ トの切断や削孔な

業務を行っていますか。現在はどのような

間、社長として会社を運営してい 社の代表取締役社長として入社 社であるガンシンテック株式会 しました。 平成14年10月1日に、 以来、現在まで17年 関連会

教えてください。一番の成果、成功体験を

設後も、 きました。 を切れ目なく受注することがで ラックを使った重機土工工事が 得意分野である重機、 から陸上工事主体へと変化して の沖合移設事業が海上工事主体 大きく増加し、 いきました。それに伴い、 私が入社したころ、 基地関連の様々な工事 また滑走路の移 米軍基地 ダンプト 当社の

仕事はなんですかっ思い出に残っている

.....

所長さんは○○さんだったな」な ど、懐かしく思い出されます。 れはいつ頃で、○○会社の現場の れは目に見えるものだったり、 わっていることに気づきます。 ほとんどの場所で何かしら関 の基地内を車で移動していると、 てが、思い出に残っています。 下にあるものだったりします。「こ 米軍基地内での仕事のほぼ全

失敗談を教えてください。

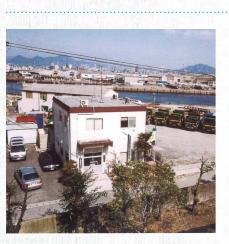
談というものはありません。ただ あります 生法を選択したり、 た。そのため、自分としては失敗 皆さんの支えに恵まれてきまし めての社長業ではありましたが、 50歳を過ぎてから入社 予期せぬ損害を被ったことは 信頼していた客先が会社更 倒産したり

教えてください。 思い出深いエピソ ドを

行ですね。 佐神宮詣でのバスによる社員 詣でと、70周年の別府温泉と宇 創立60周年の四国・金毘羅山

教えてください。 しての今後の目標を 最後に、ガンシンテックと

させていきたいと思っています。 験に基づく技能を、しっかり継承 テラン社員が持っている知識、経 成し、定着させていくことです。 人手不足のなかで、若手を育



やまぐち建設産業 魅力発見フェア 開催!



6月4日にやまぐち建設産業魅力発見フェアが開催され、 ガンシンもブースを出展しました!今回はその様子を紹介します!



概要

.......... 日時 2019年6月4日(火)

山口きらら博記念公園 (多目的ドーム、スポーツ広場)

山口県内の高校・高専生を対象に、 建設産業の仕事の魅力を伝えることで、 建設産業への理解と関心の向上、 若者の県内建設産業への入職促進を図る。



やまぐち建設産業魅力発見フェアとは?

建設産業の担い手確保対策の一環として、高校生などを対象に現場見学会や出前授 業などを行います。技術・技能体験や県内企業紹介等を通じて、建設産業に対する 理解と関心を深めてもらおうと、趣向を変えながら毎年開催し、今回で4回目です。 今回は、山口県内の6つの高校、土木・建築・環境土木・農業土木などを学ぶ学生 約200人が参加しました。ドーム内では建設業界の鉄筋の結束体験や鳶の足場体験、 大工体験などが行われました。さらに、ドーム外では、ドローン測量の実演、コマ ツの ICT 建機の実演なども行われました。





学生はこれらのミニチュアの 重機を操作し、建設業の仕事に 触れることができました!









戦艦・大和や零戦、FA18スーパーホーネ 蒸気機関車にスペースシャトル、レトロなアメ車-プラモデルコレクターを魅了する数々の作品を 手がけるのは、岩国市今津町の上木茂さん(45) 会社員として務める傍ら、プラモデルの制作代行 して、模型とその魅力を伝えています。 地元で約60年続く模型専門店「新牛模型 ここで育った上木さんは子どもの頃からプラモテ を作るのが日常だったとか。7年前に父・久明さんが 他界、今は母・昌子さんが店を切り盛りしています。 代行を始めたきっかけは4年前、お客さんに頼まれた こと。「プラモデルは好きだけど、なかなか上手にできない、道具をそろえるのが大変、やりっ放しで部品か なくなるという方が結構多いんですよ」と上木さん その技術や完成度はすぐに口コミで広がり、場外の

お客さんからも次々に頼まれるようになったそう。

リアルに制作することにもこだわり、宇宙から帰還 したスペースシャトルなど写真を見ながら、エアブラシで何度も吹き付け、 大気圏突入の焦げ跡も忠実に再現。"愛車を作ってほしい"という要望 も多く、車高の高さや窓の大きさなど、余った部品を改良して試行錯誤 します。その完成品は写真で見るとまるで本物のよう。「自分の好きな ジャンルの物をかっこよく飾りたいという方のお手伝いをして、喜んで もらえることが何よりのやりがい。でも、ものづくりの楽しさも知ってほしいので、いくらでもコツや技術はお教えしますよ」と笑顔の上木さん



上木茂氏の模型製作に関する紹介 2018年5月 中国新聞ファミリー 掲載記事

展示した模型のうち数点を ガンシン仕様にカラーリング し直してくれたのは、 クレーン事業部オペレーターの **ひさんです!**

アトリエ*プラモ「Space with PLAMO」

女性による安全パトロール ・ を実施しました!



月に1回定期的に実施されている安全パトロール。 7月8日に実施された安全パトロールには、初めて女性社員が2名参加しました。

整理整頓や現場の綺麗さなど、女性ならではの新しい視点からの発見もありました。

今後も年に1回女性による安全パトロールを実施していく予定です。

女性の目線という新たな視点で現場を見て、さらなる 現場環境の改善に努めていきます!



